

事務局だより



報告

平成 25 年 2 月号

とても残念ですが事故の報告です。 去る1月17日木曜日 午後4時48分 農業公園において 大きな事故が起きてしまいました。

当日は事務所(休憩所)から少し離れた場所で、会員 26 名が梅の剪定作業を行っていました。 作業を終え事務所へ戻る途中 車の後部から路上に転落。 救急車で病院に搬送されましたが、頭部骨折で 2 週間の入院加療をされました。 回復を願い状況を見守っていましたが 1 月 30 日 亡くなりました。

全国シルバー人材センター事業協会が発行している『安全就業ニュース』には、全国で発生した重篤事故(死亡又は6ヶ月以上の入院)が集計され報告されます。 昨年5月号では、平成23年度は死亡28人・6ヶ月以上の入院が11人との報告がありました。 数字を見て、『本当に悲しいことやなあ』とは思いましたが、当センターのホームページに掲載しただけで、せつかく色々事故原因について分析されているのに 会員の皆さんに具体的に伝えることを怠ってしまいました。 判りきったことでも、言葉で 文字で 伝えるべきでした。 事務局として反省しています。

危険を感じたら、躊躇せず声をかけあいましょう。 やっぱり危ないか と気付く機会になります。 言い辛いでしょうが、『安全第一』です。

シルバーの仕事に『行ってきます』と出かけていただいた以上、元気に『ただいま』と帰っていただかなければなりません。 『きっと帰って来てくれる』なんて思わずに毎日を過ごしていますが一番大切なことです。

この事故を 他人事じゃなく皆で受け止め、二度とこのような事故を起こさないと誓いたいものです。



訃報

大安会員 森 功様(68歳)が
逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

安全適正就業の取組み

2月7日安全適正委員会が開催され、冒頭 近藤理事長の挨拶の中で、今回の事故について「シルバー人材センターの基本理念が『自主・自立、共働・共助』であることは勿論ですが、その前に働く者の希望として『会員の幸せと 家族の幸せ』が最優先であることは万人の認める所と信じます。ひとたび事故が発生しますとご家族の不幸は計り知れないものとなります。この度の事故に対しても、ご家族のご無念は察するに余りあるものと思います。」と述べられました。 尊い命を失った重い事実を皆で共有し 再発防止に努めなければならないと思います。

再発防止策

当センターでは 24 年 4 月～25 年 1 月までに

傷害事故 7 件

賠償事故 3 件 が発生しています。

安全適正委員会(2月7日開催)では、次の再発防止策が検討されました。

- ① 事故防止検討会議の開催
 - ・事故が発生した時は、当事者と安全三役及び地区安全適正委員で不具合を検証する。
(検証報告書を本人が作成し提出することで、より一層の反省が期待されます。)
- ② 「声掛け・声だし」、「ヒヤリ・ハット」の取組み
 - ・重大な事故が発生する前には、多くのヒヤリ・ハットが潜むと言われます。ヒヤリ・ハットの事例を集め公開し共有することにより、重大な災害や事故を防止することができると期待されます。
- ③ 安全適正就業研修会の開催
 - ・年2回(8月・1月)開催する。
- ④ 「安全就業だより」、「事務局だより」で啓発
 - ・引き続き会員の就業に関し事故を未然に防止し、安全に就業できるよう周知していく。

以上 安全就業の取組みについてご理解いただきますようよろしくお願いいたします。



入会説明会

2月18日(月)

3月18日(月)・4月15日(月)
北勢福祉センター2階会議室において
いずれも 午後1時30分からです。

お友達の紹介をお願いします。

今月は 事務局だより
配分金明細書(1月就業者のみ)
安全就業基準 を送付しました。

